

平成31年度第1回小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会 視察結果

実施日：	平成31年4月5日（金）
時 間：	午前10：00から午前11：30まで
内 容：	平成30年度補植サクラの生育状況の確認 平成31年度整備範囲の状況確認 令和2年度以降のサクラ補植地及び伐採を要する樹木の確認 上水遺構の状態の確認
参加者：	亀山 章（東京農工大学名誉教授） 椎名 豊勝（一般社団法人日本樹木医会東京都支部長） 伊藤 孝（元日本大学名誉教授） 小金井市（生涯学習課3名、道路管理課2名、環境政策課2名） 東京都教育庁（地域教育支援部管理課5名） 東京都水道局（経理部管理課2名、境浄水場2名） 小平市（スポーツ文化課2名）
結 果：	<p>（平成30年度実施事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度に補植したサクラ苗木20本は、一部花が付いたことを確認できた。 ●2月中に植樹した事で、昨年度よりも成育はやや良好であった。 ●植樹後は乾燥する時期で水不足に生じやすいため水遣いを特に必要とする。 ●補植したサクラ周囲の環境は、樹木が伐採されて日当たりや風通しが改善され（指導事項） ●平成25年度植樹分も含めて既存のサクラを被圧する樹木が大きく成長・増加し、サクラの樹形変形の要因となっているため、早急の伐採が必要である。 ●補植を予定しているサクラを保護していく方策として、サクラから周辺5m範囲内に繁茂する中・高木又は今後影響を与える恐れのある樹木等は伐採することが求められる。また、既存のサクラに対しても同様の保護措置を講ずること。 ●堤から法面に群生するササ類は、生長する前に処理する。通年の下草刈り時に、ササも含めて刈り取ればよい。 ●乾燥時期が続くと水不足でサクラは弱る。特に、補植後のサクラ苗木の生長が弱いため、年間を通じて、また3年間は水遣いを徹底すること。 ●上水法面の崩落が進んでいる。史跡保護上、雑木伐採が必要である。 <p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サクラ植樹のために伐採した雑木の萌芽更新が早く、すでに大きく育ち再度繁茂している。史跡及び名勝の管理上好ましいものではなく、モデル区間事業の意義が低下する。植樹したサクラが立派に生長するまでの期間中は、2・3年に一度のペースで雑木剪定・伐採を徹底すること。 ●維持管理を適切に円滑進めるための柵内への立入り許可の検討。 <p>（小金井橋から貫井橋区間の現況確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●右岸（小金井市） <ul style="list-style-type: none"> ・歩道帯の雑木は伐採が必要である。